

溶融噴射式路面カラー塗装に関する特記仕様書

平成21年8月1日

この特記仕様書は、車両や歩行者に対し、通行帯及び歩道、バス停等の路面カラー塗装することにより明示視認性を高め、交通の安全を図ることを目的とした、溶融噴射式路面カラー塗装を実施する際に適用する。

(1) 塗料の品質及び試験方法は表-1のとおりとする。

表-1 溶融噴射式路面カラー塗料の品質及び試験方法

項目	基準値
密度(23℃) (g/cm ³)	2.3以下
軟化点 (℃)	80以上
タイヤ付着性 (分)	タイヤに付着しない
耐摩耗性 (mg/100回)	80以下
圧縮強さ(23℃) (kN/cm ²)	0.802以上
耐アルカリ性	異常がない
硬質骨材含有量 (質量%)	13.5~16.5
着色磁器質骨材及び天然硬質骨材の粒径 (mm)	0.85~0.35
試験方法	JIS K 5665(路面標示塗料) 3種(溶融)規格に準ずる

(2) 散布骨材の品質は表-2のとおりとする。

表-2 散布骨材の品質

項目	基準値
粒径 (mm)	0.5~0.15
吸水率 (%)	2.0以下
硬度 (旧モース硬度)	7以上
粒度分布	定められた粒径範囲の上限を超える物が重量で10%以下、下限を下回るものが10%以下

(3) 施工の品質管理及び測定方法は表-3のとおりとする。

表-3 カラー塗装工の品質管理及び測定方法

項目	規格値	測定基準
厚さ (mm)	1.7以上	1 施工当たり 1 供試体を標準とし、以後300m ² ごとに+1 供試体 (4 隅の4 点の平均値)
車道のすべり抵抗値 (回転式すべり抵抗測定機による) (μ)	0.45以上 (60km/h) 湿潤時	測定は、1 車線100mごとに1 箇所とする。
歩道及び路側帯のすべり抵抗値 (ポータブルスキッドレジスタンスステッカーによる) (BPN)	65以上 湿潤時	測定は、1 日施工あたり1 箇所又は300m ² ごとに1 箇所とする。
排水性舗装の上面に施工する場合の有効浸透水量 (ml/15sec)	90%以上* (新設舗装時)	測定は、1 日施工あたり1 箇所又は300m ² ごとに1 箇所とする。

※ (既設舗装) は別途協議とする。

(4) 施工については次のとおりとする

溶融噴射式路面カラー塗装工の施工に当たっては、次の点に留意して施工すること。

ア 塗料色は、事前に監督員に色見本を(塗膜見本)提出し承認を得てから施工すること。

イ 気温5℃以下の場合、施工を避けること。やむを得ず施工する場合は、路面を予熱し路面温度を上昇させた後、施工すること。

ウ 歩道部等の透水性舗装部においては、その機能を損なわない材料を用いること。